

静岡 いきもの 市 散策マップ

高山・市民の森コース



タカの渡り

9月下旬から10月上旬にかけて、展望台の付近では、南方に渡っていくサシバやハチクマといったタカが見られます。時にはたくさんの群れで通ることもあります。野鳥の会の人などの指導を得て、観察してください。



サシバ



ハチクマ

星の展望台からの眺め



富士山がよく見えます。



※山頂トイレは冬季(12~3月)使用不可です。

高山の昆虫

この森にはトンボをはじめ、様々な種類の昆虫が生息しています。春から夏の間には、カミキリムシやオサムシなどの仲間が、秋になると、コオロギなどの鳴く虫の音色が草むらから聞こえます。

展望台には水槽があり、トンボがここで産卵します。



産卵に来たタカネトンボ

学習展示施設 森の恵

学習展示施設「森の恵」では、季節ごとに変化する高山の自然や森林のはたらき、林業についてなど、さまざまな情報を紹介しています。定期的な自然観察会もあるようなので、問い合わせてみてください。

自然の情報があると、より楽しく自然観察ができます。



【開館時間】

午前9時~午後4時(11月~2月は午後3時まで)

【休館日】

第2・第4月曜日(祝日の場合は開館) 年末年始

【問い合わせ】

静岡市森林政策課 TEL: 054-254-2111 (代表)

- 一般道路
- 敷地内道路
- 管理用道路
- 遊歩道
- トイレ
- 駐車場

学習展示施設 森の恵



ニホンカモシカ

バッタの原っぱ

復元の森



ミヤマクワガタ

観察の森

歓迎の森



竜伝説の森

高山の池



ネギトンボ

水源の森

新聞・水見色

散策の森



山頂 717m



高山の池

竜伝説もある神秘的な雰囲気の高山の池は、湿地帯として植物や生物にとって重要な場所です。



高山の池

4月上旬にはミズバショウが咲きます。このミズバショウは、群馬県片品村より株を譲り受けて移植したものです。

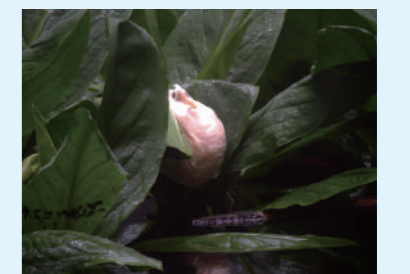


ミズバショウ

4月から6月にかけて、池の周りの木には、モリアオガエルの卵塊がたくさん見られます。この卵塊からオタマジャクシが孵化し、池に落ち、成長します。



モリアオガエル



卵塊

注意：現在、高山の池周囲は、安全対策としてネットがはられ、池に近づくことができません。



静岡市 いきもの 散策マップ

高山・市民の森コース

しょくぶつ



- ミズバショウ**
湿地に生えるサトイモの仲間。5月頃に大きな白い花を咲かせます。強い毒を持っています。
- タラノキ**
春に出る若芽は「タラの芽」と呼ばれ食べられます。8月、枝先に小さな白い花をたくさん咲かせます。
- ミツマタ**
枝が三つに分かれているので、こう呼ばれます。和紙の原料になります。3月に白い花が咲き、後に黄色へと変わります。
- ヤブレガサ**
若い葉が破れた傘に似ているので、こう呼ばれます。林の中で育ち、7～10月に白っぽい花を咲かせます。
- カキノハグサ**
山地の林の中で育ち、5～6月にやや大き目の黄色の花を咲かせます。日本にだけ分布する植物です。
- コアジサイ**
山地の明るい林の中で、6～7月に淡青色の花を咲かせます。アジサイと違って、ガクの大きな飾り花はありません。
- ヤマジノホトギス**
山地の林のまわりに生えています。8～10月に鳥のホトギスの胸の柄に似た、白地に紫色の点がある花を咲かせます。
- ツルリンドウ**
茎がツル状になるリンドウの仲間です。山地の林の中に生えています。8～9月に紫色をおびた白色の花を咲かせます。

ほたるときの

- ホタルブクロ**
キキョウの仲間。釣り鐘のような形をした桃色の花を6～7月に咲かせます。草原や山地に生えています。
- オカトラノオ**
山地の陽当たりの良い原っぱに生えています。6～7月に虎の尾のような、先が垂れ下がる房状の白い花を咲かせます。
- ノコンギク**
山地の林のまわりによく見られます。9～11月に淡い紫色の花を咲かせます。葉の表裏に短い毛があります。
- ヒヨドリバナ**
ヒヨドリが山から下りてきて鳴く頃に花が咲くことから、この名前がつけました。8～11月に白い花を咲かせます。

とくが・かえる

- ニホンカナヘビ**
全長20cmくらいの小さなトカゲで、昆虫などを食べます。山地から低地まで広く分布し、庭先でも見かけます。
- アズマヒキガエル**
体長9～15cmになる大型のカエルで、頭が近くから毒を出します。繁殖期にオスは小さく「クッククック」と鳴きます。
- モリアオガエル**
体長4～8cmで、暗褐色や緑色をしたカエルです。「コロコロ」と鳴き、水上の小枝に泡のような卵を産みつけます。
- アカハライモリ**
池や田んぼなどで見られ、お腹が赤いので赤腹とも言われます。昆虫やミミズ、他の両生類の卵や幼生を餌とします。

どうぶつ

- ニホンカモシカ**
国の特別天然記念物で、昼間でも見かけることがあります。木の皮を食べるので、林業にしばしば被害を与えます。
- イノシシ**
雑食性の大型哺乳類で、丈夫な鼻で土を掘り返して、植物の根やミミズなどを食べます。農作物にも深刻な被害を与えます。
- タヌキ**
中型の哺乳類で、足が短く、ずんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。
- ニホンザル**
雑食性で果実、植物の種や芽のほか、昆虫なども餌とします。群れを作り、なわばりをもって生活します。
- キクガシラコウモリ**
頭胴長は5～7.5cmくらいの大型のコウモリで、鼻の一部が広がりが菊の花に似ていることが名前の由来です。
- ニホンノウサギ**
全身は茶色ですが、お腹だけ白い色をしています。主に夜に活動して、葉や芽、枝などを食べます。
- アナグマ**
ずんぐりとした体つきのイタチの仲間。昼間活動することもあります。雑食性で昆虫、ミミズ、果実などを食べます。
- ニホンジカ**
大型の哺乳類で、オスはツノを持っています。この辺りでは近年数が増え、植物を食い荒らしています。

とり



- ノスリ**
カラスより大きなタカ仲間です。山地や人里で1年中見られます。「ジエイジエイ」と鳴き、ドングリを好んで食べます。
- カケス**
ハトくらいの大きさで、山地にすんでいます。「ジエイジエイ」と鳴き、ドングリを好んで食べます。
- コゲラ**
スズメくらいの大きさで「ギーギー」と鳴くキツツキの仲間です。公園など身近な場所でも見られます。
- ヤマガラ**
スズメくらいの大きさで、「ツツビーツツビ」と鳴きます。公園などでも見られます。学習能力がとても高いです。
- ウグイス**
よく知られた鳴き声は「ホーホケキョ」ですが、冬には「チャッチャツ」と鳴きます。ヤブの中に入れて姿を見るのは難しいです。
- メジロ**
ウグイスに似ていますが、背側は全体的に黄緑色で、眼のまわりが白いのが特徴です。人家の庭先でも見られます。
- ジョウビタキ**
スズメより少し小さな鳥で、秋に日本へやってくる渡り鳥です。山地から住宅地で見られ、「ヒツヒツ」と鳴きます。
- ヒガラ**
体長10～13cmくらいで、背と頭は黒く腹は薄い褐色です。ツツビ、ツツビまたは、チョビ、チョビと鳴きます。

むし



- ルリボシヤンマ**
はねを広げると8cmくらいのヤンマで、オスはお腹に水色の模様があります。やや寒いところの湿地などにいます。
- ネキトンボ**
はねを広げると7cmくらいのアカトンボで、はねのつけ根が広く赤色です。水辺の植物が豊かな池のまわりにはいます。
- アサギマダラ**
春には南から北へ、夏から秋には北から南へ、2世代かけて移動します。ヒヨドリリノケが特に好きです。
- ツマグロヒョウモン**
1993年頃から急に増え、海岸から山地まで分布を広げています。幼虫はパンジーなどを食べます。
- クルマバタ**
トンサマ(ツタ)よりやや小さく、飛ぶとき後脚に車輪が回っているように見えます。この名がつけました。
- キタテハ**
成虫で越冬するチョウです。夏に現れるものは黄褐色をしていますが、秋のものは赤色で、はねの形も枯葉に似ています。
- エンマコオロギ**
2cmくらいになる大きなコオロギで、畑のまわりの草むらにすんでいます。
- オオゾウムシ**
体長1.2～2.4cmの日本最大のゾウムシです。弱ったマツやスギなどに産卵し、幼虫はそれを食べて育ちます。

アクセス情報



- 【車でのアクセス】**
- 静岡駅前より国道 362 号線にて藁科川沿いに進む。
 - 「藁科中学西」交差点を右折し、水見色川沿いに進む。
 - 「水見色小学校」を右折、林道を進み、市街地より約 50 分で到着。
※水見色の林道が通行止めの場合は新聞側より迂回してください。
- 【迂回ルート】**
- 静岡駅前より国道 362 号線にて藁科川沿いに進む。
 - 「新聞トンネル」を通過後、最初の信号を右折。
 - 林道を進み、市街地より約 50 分で到着。

【バスでのアクセス】

静岡駅前より、しずてつバス「水見色行き（藁科線）約 40 分「水見色小学校」にて下車、徒歩 50 分。

緊急連絡先

- 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- 消防 119 番
- 警察 110 番

注意事項

- ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。
- コース周辺の私有地には駐車しないでください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市環境局
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL：054-221-1319 FAX：054-221-1492
 制作年：令和6年2月

他にもたくさんの生きものがいるよ！
QRコードからのぞいてみよう！！



しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう 検索

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください！！(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)





高山市民の森

高山・市民の森は、自然に恵まれ、季節ごとにさまざまな生き物が観察できます。

学習展示施設「森の恵」では、高山の動植物の紹介や林業の仕事、森林のはたらきなど、さまざまな情報を紹介しています。

しょくぶつ

● アケボノソウ



リンドウの仲間、白い花びらに細かな斑点があり、それを夜明けの星空に見立てたことが名前の由来になっています。

● スルガテンナンショウ



サトイモの仲間、毒があります。山地の林内や林縁に生え、4～5月に淡い緑色の花を咲かせます。

● エビネ



ランの仲間の多年草で、4～5月に茶褐色から緑褐色の花を多数咲かせます。日本の野生ランでは多く見られる仲間です。

● ナベワリ



森林に生育する多年草で、名前の由来は、「なめ割り」の変化したものと云われ、「なめると舌が割れる」という伝承があります。

● クサギ



日当たりのよい原野などによく見られるシソ科の植物。葉に悪臭があることからこの名前があります。

● ニガナ



耕作地周りから山野にかけて広く生育するキク科の仲間、5～7月に、黄色の花を咲かせます。

● シモバシラ



シソの仲間の多年草で、8～10月に白い花を咲かせます。枯れた茎に霜柱ができることで知られています。

● ネジバナ



湿気があり、日当たりのよい草地に生育するランの仲間、春から秋のはじめにかけて、らせん状の花を咲かせます。

● ヒカゲノカズラ



日当たりの良い場所で、地表を這い回るように生育するつる性の常緑性のシダ植物です。細長いブラシのように見えます。

● マタタビ



つる性の落葉樹で、晩秋に果実をつけます。写真の左は、タマハエ類による虫こぶです。キウイフルーツも同じ仲間です。

● ホウチャクソウ



ユリの仲間、4～5月に花が咲きます。花は枝先に1～3個ずつ付いて垂れて咲きます。

● ヤブツツギ



スイカズラの仲間の小さな木で、5～6月に濃い赤色の花をつけます。ケウツツギとも呼ばれます。

とがげ・かえる

● ヒガシニホトカゲ



山地から低地の陽当たりよいところに生息し、小さな虫やクモなどを餌にします。幼体は青色、成体は褐色です。

● ニホンアマガエル



体長3～7cmくらいのカエルです。単独で草むらや森林などの地上で暮らし、昆虫やクモ類を食べます。

● ネバタゴガエル



体長4～5cmくらいのアカガエルの仲間、小さな流れの崖の中や、水たまりなどで卵を産みます。

● ヤマアカガエル



体長4.2～7.8cm赤茶色をしています。キヤララ、キヤララと鳴きます。

むし

● クロスジギンヤンマ



体長6～9cmくらいの大型のトンボ。オスは腹部にあざやかな青い斑紋があります。5～6月頃によく見られます。

● ヤブヤンマ



体長6～9cmの大型のトンボで、森林に近接した小さな水域を中心に生息します。幼虫は越冬し翌年の夏に羽化します。

● タカネトンボ



体長5～6cmくらいの細身のトンボで、薄暗い環境を好み、周囲を枯草に囲まれた小規模な池沼等に多く見られます。

● オオアオイトトンボ



体長4～5cmの鮮やかな金緑色に輝くトンボです。平地や丘陵地の池沼や湿地に生息します。

● ウスバキトンボ



体長5～6cmくらいのトンボです。名前のとおりはねがうすく、体は黄色っぽいトンボです。世界で最も広く分布しています。

● オオシオカラトンボ



体長5～6cmくらいです。オスは青黒く、メスは黒と黄色の体色です。後ばねの根元に三角形の黒斑があります。

● ミヤマアカネ



体長4cmくらいのアカトンボの仲間です。主に山地にすみ、6～11月に見られます。

● リスアカネ



体長4～4.5cmくらいのアカトンボの仲間です。はねの先端にある褐色の斑紋が目立つ中型の赤とんぼです。薄暗い環境を好みます。

トンボ

むし

● ミヤマカラスアゲハ



カラスアゲハをよりメタリックにしたきれいなアゲハチョウです。幼虫はカラスザンショウなどを食べます。

● カラスアゲハ



はねを広げると10cmくらいの大型のアゲハチョウの仲間です。成虫は4～8月に3回ほど発生します。

● キアゲハ



ナミアゲハに似ていますが、はねの黄色が濃く、前ばねの付け根は黒ずんでいます。セリ科の植物に産卵します。

● ヤマトシジミ



はねを広げても3cmに満たない小さいチョウです。人家まわりでもよく見られます。成虫は3～11月に見られます。

● キタキチョウ



はねを広げると3～4cmくらいの黄色いチョウです。成虫は越冬し、3～11月に見られます。

● モンキチョウ



黄色地のはねに黒色や橙色の紋があるシロチョウの仲間です。成虫は3～11月に4～5回発生します。

● ジャノメチョウ



中型のチョウで、はねは様に茶褐色で、前ばねに2つ、後ばねに1つの眼状紋があります。幼虫はイネ科のススキなどを食草とします。

● コミスジ



黒地に白い3本のスジがあり、前ばねの長さは2.5cmくらいで、春から秋まで雑木林の林縁で見られます。

チョウ

むし

● コクワガタ



体長オスで3～5.8cmくらいのクワガタの仲間、比較的多く見られます。クヌギやコナラの雑木林によく見られます。

● ミヤマクワガタ



大型のクワガタムシです。成虫は6～9月に発生します。クヌギ、コナラなどの樹液に集まります。

● ゴホンダイコクコガネ



体長1～1.5cmくらいの糞虫の仲間です。オスは頭に5本の角を持っています。シカの糞などで繁殖します。

● オオセンチコガネ



体長1.3～2.2cmくらいのコガネムシの仲間です。地域によって金赤、金緑など色が違います。動物の糞を食べます。

● ウスバカミキリ



体長3～5.8cmになる大型のカミキリムシです。夜行性で、飛翔力が高く、灯火によく飛来します。

● ヨツスジハナカミキリ



体長1.4～2.2cmくらいで、前ばねに黒と黄の4本の帯模様がある。花によく集まります。ハチに擬態していると言われます。

● カブトムシ



体長3～5.3cmくらいの大きな甲虫の仲間、オスには大きな角がある。成虫は樹液を食べ、幼虫は土中で腐葉土などを食べる。

● ヒメクロオトシブミ



体長0.5cmくらいの小さなオトシブミ類です。餌とする樹液は幅広く、コナラなどがあります。餌となる木の葉を丸めてぶら下げます。

コウチュウ

むし

● ショウリョウバッタ



オスで5cmくらい、メスで8cmくらいの大きなバッタです。オスは飛ぶときにキチキチと音を立て、キチキチバッタとも呼ばれます。

● ナキイナゴ



体長2～3cmのバッタで、イネ科の群落で見られ、オスは前ばねと後脚を擦り合わせ「ジャ・ジャ・ジャ」と発音する。

● ヘリグロツムシ



体長2.4～3.1cmくらいで、背側のはねの付け根の黒い線が特徴。成虫は8～10月に出現し、広葉樹の葉などを食べます。

● ヒグラシ



中型の体長3cmくらいのセミで、朝夕に甲高いカナカナ、と聞こえる声で鳴きます。

バッタ・セミ

● ヒロバネヒナバッタ



体長2.5～3cmのバッタです。つやのない褐色で、腹部先端部附近は赤みを帯びます。夏から秋にかけて見られます。

● クサキリ



体長4～5.5cmです。成虫は8～10月に見られ、夜間に「シー」という声で鳴きます。イネ科植物や他の昆虫などを食べます。

● モリオカメコオロギ



体長1.2～1.6cmくらいの中型のコオロギ。複眼の間に細い白線があります。主に林中や林縁にすみ、オスはリー・リー・リと鳴きます。

● ニイニゼミ



小型の体長2cmくらいのセミで、チー・チーと繰り返し鳴きます。6月下旬頃から7月頃に発生します。

とり

● サシバ



夏鳥
全長50cmくらいの中型のタカの仲間。「ヒキクイ」と並び、秋に群れで南方に渡る姿が見られます。

● ハチクマ



夏鳥
全長60cmくらいです。シバチやハチを好んで食べます。東北から北海道で繁殖し、秋の渡りの時に見られます。

● コサメビタキ



留鳥
全長13cmの小鳥です。低山帯の明るい林に渡来し、目の周りが白いのが特徴です。秋の渡りの時期によく見られます。

● アマツバメ



夏鳥
全長20cmくらいで、高山帯や海岸の断崖などに棲み、鎌形の翼で高速で飛びます。静岡市では秋の渡りの途中で見られます。

● イカル



留鳥
全長23cmくらいで、大きな太い黄色いちびちびが特徴です。山麓や平地の林の中におり、「キーキー」と立ちます。

● カワラヒワ



留鳥
全長15cmくらいの小鳥で、黄褐色で、太くちびと翼に黄色が混じっています。雑木林や人家周辺に1年中見られます。

● ガビチョウ



特定外来種
全長22～25cmくらいです。ペットとして輸入され、かご脱けにより定着しました。目の周りの白い斑が特徴。大きな音でさえる。

● アオゲラ



留鳥
全長29cmくらいのカツツキの仲間です。日本特産種で、平地から山地の林に棲み、樹穴を開けて繁殖します。